

令和6年11月  
東京三協信用金庫

独立行政法人 国際協力機構が発行する  
「ジェンダーボンド(サステナビリティボンド)」への投資について

東京三協信用金庫(理事長:中島久喜、以下当金庫)は、独立行政法人 国際協力機構(JICA)が発行する「ジェンダーボンド(サステナビリティボンド<sup>※1</sup>)」(以下本債券)への投資を実施いたしました。

本債券で調達された資金は、JICA が準拠する国際的なジェンダー事業分類<sup>※2</sup>に合致する、「ジェンダー平等や女性のエンパワメントを目的とする事業(例:発展途上国の女性のための経済的アクセスの改善事業、女性の教育と生涯にわたる健康の推進等)」「ジェンダー平等や女性のエンパワメント推進に資するコンポーネントを組み込んでいる事業(例:発展途上国における女性専用車両・防犯カメラ・女性用トイレの設置等)」に活用されます。<sup>※3</sup>

本債券への投資が、世界的なジェンダー平等や国際社会・経済の健全な発展のために活用されることにより、地域社会の発展に繋がっていくことを期待し、投資を決定いたしました。

今後も、当金庫はその公共性・公益性に鑑み、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしていきたいと考えております。

※1 「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、環境改善効果があること(グリーン性)及び、社会的課題の解決に資するものであること(ソーシャル性)の双方を有する債券です。JICA のサステナビリティボンドは、独立した第三者機関である Moody's より、国際資本市場協会が定義するサステナビリティボンドの特性に従った債券である旨のセカンドパーティーオピニオンを付与されています。

※2 経済開発協力機構(OECD)の開発援助委員会(DAC)の基準に準拠する。

※3 石炭を燃料とする発電所施設の新設・改修等に関する事業への出融資は除外されています。



お客様と共に歩んで100年  
これからも共に歩む「未来」